



学校園だより

良樹細根

丹波篠山市立
たみみず幼稚園
城北畑小学校
6月の3



水遊びが始まっています！

先日より園では水遊びが始まっています。ビニール袋で作った

お化けに水鉄砲で勢いよく水を掛けたり、友だち同士で水を掛け合ったり、滑り台の上から下にいる友だちに水を掛けたりしながら遊んでいます。また、数人が集まり、空に向かって一斉に水を出したりしています。みんなでやると、ほんの一瞬ですがシャワーのように水が降ってきます。冷たくても「キャー、キャー！」と言いながら楽しんでいます。春の草花や木の芽、真夏の暑い日差し、突風にさらされて舞い散る落ち葉など、園児

は日々の生活の中で季節の変化を感じる場面に出会うことが多いです。四季折々の変化を感じ、それらを園児自身が全身で感じ取る体験を多く取り入れていきたいものです。

21日（月）遊戯室にて園児向き交通安全教室を行いました。講師に丹波篠山市交通安全協会の肥後さんと都築さんをお迎えしました。信号の見方、左右の確認と



ドライバーに渡っていることが分かるように手をあげて横断歩道を渡ること、自動車に乗ってお出かけするとき、シートベルトをしないとフロントガラスやシートに頭をぶつけてしまう危険性があること、状況によっては車外に飛び出してしまう場合があること、道路の近くでボール遊びなどはしないこと、夕暮れ時にはドライバーに分かるように反射板などを靴や服などにつけるとより安全になることなどを教えてもらいました。

大人と子どもの視野（見える範囲）を比べると、6歳児でも大人の約6割、音が聞こえてくる方向の感覚は同じく約6割しか発達していないというデータがあります。幼児は視野が狭く、また、1つの物事に集中すると周りの事が目に入らなくなることから、大人に比べ「飛び出し」をしてしまう危険性が高くなります。発生した交通事故で多いのが、道路へ「飛び出す！」ケースです。今回の交通安全教室は、コロナ禍のため6月下旬実施となりましたが、今後は1学期のできるだけ早い時期に実施していき、自ら安全に気を付けて行動する園児を育てていきます。



2年生公開授業

21日（月）5校時、2年生算数科授業を、市教育委員会足立指導主事、荻野学校経営指導主事をお

招きし、教師全員で授業を参観しました。単元「100をこえる数」本時の学習「10を24個集めるといくつになるか、360は10を何個集めた数か」2年生では、数を十や百を単位としてみるなど、相対的な大きさについて理解することが学習内容の一つです。例えば6000を「10が600個集まった数」とみたり「100が60個集まった数」とみたりすることです。数の相対的な大きさを捉えること

によって、数の仕組みについての理解を深めるとともに、数についての感覚を豊かにすることがねらいです。今回の授業においても、10円を描いたペーパー等の具体物を使いながら児童の理解を深めました。教師を何年やっても授業は難しいですが、みんなで思考を深めていくことで初めて学び合う児童の姿が生まれます。思考を深める教師の発問と考え合う時間の確保が不可欠です。教師が一人で喋ったり、説明が長かったりするのは避けなければなりません。本校職員、みんな授業に真剣に取り組んでいます！



3年生忙しい！

22日（火）3年生が「まち探検」に出かけました。黒豆栽培でも畑地区に出かけることが多

く、3年生は忙しく動いています。この日は、藤岡ダム、石くど古墳、市民センター、よし池公園、ゆり園を見学しました。市民センターでは、2階の多目的ホール、1階にあるたくさんの研修室を見学させていただきました。質問時間では、案内してもらった方に次から次へとお尋ねするなど、学習意欲を感じました。ゆり園では、安田様のご厚意に甘え、無料で入園させていただき、10万本のゆりが咲き並ぶ美しい花々と「玉水」

（石くど古墳見学）の由来も学習することが出来ました。3年生の社会科では、身近な地域や市区町村の様子について、観察・調査したり地図などの資料で調べることなどを通して大まかに理解することも学習内容となっています。これからも探検がまだ続きます・・・。



租税教室

23日（水）5校時、市役所税務課勤務の西井様、小西様を講師としてお迎えし、6年生が税金についての学習をしました。消費税、住民税、固定資産税、自

動車税、所得税など、みんなよく知っていましたが、50種類の税金があることや、学校の規模にもよるが1校建てるのに平均13億円が必要であること、小学校では、1人1年間に約89万円（1か月74,000円）、中学校では同じく1年間に1人104万円の税金が使われていることを知りました。税金のイメージは、値段が高くなるから必要のないものと考えていた児童もいましたが、税金についてのビデオ視聴も合わせて学習をしました。児童の感想を聞きました。税金のおかげで社会が成り立っていることが理解できました。

- 税金がなかったら、どんな世界になるのかが分かった。
- 教科書が無償になっているのも税金のおかげだということが分かった。
- 車道や歩道、橋などがなおせなくなるので税金は必要だ。
- 税金のおかげで世界が安定していることが分かった。
- 信号機設置など、交通管理ができなくなる。

最後に、ジェラルミンケース（？）に入っている1億円分の（ニセ）札束を見せてもらいました。1千万円分の束が10個、1束手に取ってその重み、感触を確かめてみました！ずっしり重い・・・。

物には税金がかかっていること、納税制度があることなど、社会的事象の特色や相互の関連、その意味を多角的に考えるよい機会となりました。学べば学ぶほどそれらを吸収する子どもたちです。これからもゲストティーチャーを招いて児童の視野を広げていきます。



今年のデカンショ祭りにおけるデカンショ競演会は、コロナ禍のため、中止となりましたので、ご確認ください。1日も早く通常の生活ができますように・・・。